

## 町民の「生命、身体、財産」を災害から守るために

多古町長 菅澤英毅



消防団夏季訓練にて

「いつ」「どこで」「なにが」起こるか分からないのが災害です。3.11に発生した東日本大震災では多くの尊い命が犠牲となり甚大な被害を日本にもたらしました。また、最近では集中豪雨や竜巻などの気象現象による被害も少なくありません。災害から命を守るためには、個人が日頃から災害に備えておくことが基本ですが、町でも町民の皆様の安全を確保する為に様々な取り組みを行っています。各世帯に配付しました洪水・地震ハザードマップでは地域ごとの危険度を示し、地震や洪水時に役立つ情報をお知らせしています。また、災害発生時における救援物資の確保対策として、各企業が保有、もしくは、調達、製造が可能な食料、飲料水、日用品等の救援物資を優先的に供給していただく協定を締結することにより被災住民等の救援活動の円滑化に備えています。さらには、道の駅を災害時に活用しようとする動きが国の主導のもと全国的に見直されている中で、道の駅多古あじさい館が情報の発信基地などとして、町民だけでなく道路利用者全体への支援活動も含めて、どのような役割を果たすことができるか検討していくこととしています。

### 多古町メールの登録方法は？

#### 携帯電話、スマートフォンからは

##### 方法①

カメラ機能付き携帯電話で右のQRコードを読み取り、サイトに接続後、手順に従って登録をしてください。



##### 方法②

下記メールアドレスに空メールを送り、返信されたメールに記載されている手順に従って登録をしてください。

t-tako@sg-m.jp

##### 登録前に要確認

- 迷惑メール設定をしている場合は、事前に「tako@sg-m.jp」のドメインからの受信を許可する設定にしてください。



写真はイメージです

#### パソコンからは

登録画面アドレス <https://service.sugumail.com/tako/member/> から登録ください。

- ※メール配信サービスは、災害の被害状況によってはつながらないことがあります。
- ※登録料は無料です。ただし、メールの受信に係る通信料は利用者のご負担となります。
- ※登録に困ったらヘルプサイトへ <https://service.sugumail.com/tako/mobile/inquiries/index>

お問合せ●総務課交通防災係 ☎ 76-2611

## 情報収集の大切さ

災害時には、テレビ・ラジオ・防災無線などから避難方法、被害状況、交通機関の運行状況等をはじめとするいろいろな情報が発信されます。これらの情報を各自がいち早くキャッチし的確な判断をすることが命を守ることに繋がります。

### 多古町メールの登録を！

携帯電話は、地震速報の受信やインターネットへの接続、カメラや簡易な照明機能など災害時の重要なライフラインのひとつであると言っても今や過言ではありません。町では防災無線や広報車の情報提供以外にも、文字情報を送ることが出来るメール機能を使つての情報発信を昨年の2月から開始しています。火災や地震、気象情報だけでなく、イベント情報や健康情報などの日常生活に役立つ情報についてもメールによりお知らせしていきますので、ぜひ活用ください。

### 災害用伝言ダイヤル「171」の利用が便利

大規模な災害が発生した場合、安否確認をする際にメッセージの伝言板の役割を果たすシステムで、携帯電話やスマートフォンから安否情報などの登録や確認をすることができます。電話回線の混雑による繋がりにくい現象に影響されず、各電話会社で提供されるサービスです。

#### 利用方法

171にダイヤルして音声ガイダンスに従って登録・再生するだけ。  
※登録内容など詳細については、各電話会社ホームページ等の案内ページをご確認ください。

#### 体験サービス

- 次の日には体験利用ができます。
  - 毎月1日、15日
  - 1月1日～1月3日
  - 防災週間（8月30日～9月5日）
  - 防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）
- ※災害が発生した場合は体験利用できない場合があります。

## 帰宅はルールを守って!!

大規模な災害が発生すると公共交通機関が運行を停止し、帰宅困難になることが予想されます。多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があるばかりでなく、災害時に優先されるべき救助・救急活動の妨げにもなります。また、都市部などでは多くの人々が一斉に駅前などに集まり、混乱が生じる事例

### 【災害発生時には】

- まずは自分の身の安全を確保しよう。
- 職場や集客施設等の安全な場所にとどまろう。
- 災害用伝言サービスにより家族の安否や自宅の無事を確かめよう。
- 交通情報や被害情報などを入手しよう。

### 【日ごろから準備しておきたいこと】

- 職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水や食料などを用意しよう。
- 事前に家族などと安否確認の方法や集合場所を話し合っておこう。
- 徒歩やバスによる帰宅経路を確認しておこう。
- 帰宅経路のコンビニやガソリンスタンドなどを確認しておこう。  
(千葉県を含む九都県市ではコンビニやガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援協定を締結しており、水道水、トイレや交通情報などを可能な範囲で提供して頂けます)



もみられます。災害発生時には「むやみに移動を開始しない」という基本ルールを守り、被害情報や一時滞在施設の開設情報などをもとに落ち着いた行動をとります。